

# 地区懇談会での主な意見等の概要

会場名 福祉 →保健福祉センター 大正 →大正農業者トレーニングセンター  
 緑西 →緑西コミセン あじさい →地域子育て支援センターあじさい  
 生活館 →生活館 川西 →川西農業者トレーニングセンター

項目	会場	参加者の意見等	市長の発言等
健康ボランティアについて	保健福祉センター	健康ボランティアに興味があるが、高齢の自分にできるか不安。きっかけが欲しい。	ボランティア養成講座などに参加し、一度、他の皆さんが活動している様子を見ていただくと、こんな部分は自分でも一緒に活動できると感じてもらえて、自信につながっていくと思う。できることから参加して、仲間の皆さんと楽しく活動していただくことが大事だと考えている。
がん治療の周知	大正	がんの治療法には様々な方法があるので、現状の予防医療にこだわらず、たくさんの選択肢から考えるよう市民に周知することが大切である。	様々な場面で今までの常識が通用しないこともある。医療機関と連携しながら情報提供していきたい。
ラジオ体操を広めたい	緑西	ラジオ体操を普及させたい。場所や機会があれば、ラジオ体操をしたいという高齢者もいる。行政・地域・町内会の若い人たちにも中心になってもらい、広めていきたい。	ラジオ体操は、日本ではなじみ深く、多くの人は音楽が鳴ると自然に体が動く。健康寿命を長くしていくために、多くの皆さんが知っている共通の体操として活用していくことができるといい。
高齢者でも歩きやすい路面	緑西	冬、凍りついた路面など高齢者が歩くのが困難な歩道も見受けられる。「転倒されると困るから買い物に行かないで」と親族に言われて困っている高齢者もいる。通学路やスーパーに近い歩道などは、優先して補修し、高齢者が歩ける環境になれば、健康にもプラス要因になると思う。	人生100年時代を迎え、高齢者が増えてきている。今までは違った取り組みも必要になると考えている。いただいたご意見は新総合計画策定時の参考としたい。
障がい者の健康活動	緑西	ろうあ者や耳が聞こえにくくても、通訳者がつくなど、健康に関わるような活動がしたい。	誰もが健康づくりや介護予防事業などに足を運んでいただけるような機会を設けていきたい。
託児環境の利用改善	あじさい	6歳の娘と3歳の息子がいて、娘が幼稚園に通っている。娘の行事の時に下の子を一時保育に預けるが、予約が取りにくい。もう少し一時保育や一般の託児所も気軽に利用できるような環境だと嬉しい。	一時保育の利用者が増えてきている。予約方法など、受付や実施の工夫を考えていく。
子どもが遊べる公園	あじさい	グリーンパークに子どもたちを連れて行ったが、新しい遊具で楽しく遊んでいた。子どもが楽しく遊べる場所があると母親たちもすごく気分転換にもなるし良かった。	帯広市内にはたくさんの公園がある。老朽化した危険な遊具は撤去するが、引き続き皆さんに喜んでいただけるよう修繕などに努めていく。
子育て相談	あじさい	悩みを心に溜めないで吐き出すことが大事。子育て支援センターなどで同じような境遇のお母さんと話すとりフレッシュになる。市でも現場の悩みを聞き取り、取り組みにつなげて欲しい。	市の職員も現場で感じたことを大切にしながら、政策を立てる必要がある。引き続き、皆さんのご意見を伺いながら取り組みにつなげていく
産後ケアのデイサービスについて	生活館	産後ケアのデイサービスはお母さんがリフレッシュできる場だが、利用できる人が限られている。 また、「こんにちは赤ちゃん事業」では、保健師、助産師、保育士等が必ず一人一回以上訪問していると思うが、帯広市だと1カ月検診まで空白の期間が長く、そこで不安なお母さんがたくさんいる。その出かけられない時期に訪問型でケアを受けられるという制度があれば良いという声を耳にする。他の市町村では4回程度、一割程度の負担で訪問を受けられるという制度があるので、そういう制度もあれば良い。	産後ケアの訪問型も必要だと考えているが、予算面など引き続き検討していきたい。
健康につながる給食メニュー	川西	若い人のメタボや糖尿病が非常に多い。子どもの給食対策をもっとやるべき。	給食メニューの多様化や食育、若者を対象にした料理教室などを実施してきており、今後も取り組みを進めていきたい。